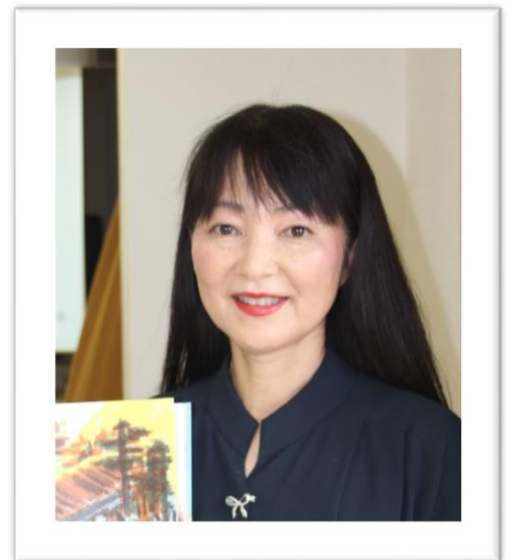




第2回 実施報告

本で深める！
親子の夏時間間
～ 読書感想文講座～



【日時】 令和2年7月18日(土) 午前10時～12時
【場所】 小郡ふれあいセンター
【講師】 前田 真奈美氏(下関市立本村小学校 教頭)
【受講生】 大人14人

with コロナの夏だからこそ！

本の世界はどこまでも自由。
言葉から想起するイメージの世界は、想像力、空想力次第で
空間にも時間にも縛られることなく、
どこまでも広げることができます。
この夏、親子で読書を楽しんで、
読書感想文にも挑戦してみましょう。

読書の発達段階を知る

参考「子どもと楽しく遊ぼう読書へのアニメーション」
黒木秀子/鈴木 淑博 著 学事出版 より

今まで本を読んでこなかった人が、いきなり難しい本を読むのは大変です。読書にも発達段階があります。家族が子どもの今の段階を見極めて無理のない選書をしましょう。

読書の自立をする（身近に本がある大人）ためには
3つのハードル（一つの川と二つの山）を越える必要があります。

①言語環境川 ……5～6才ころ

文字が読めても、文章としての理解ができるとは限らない。

「話し言葉」と「書き言葉」は違います。耳から情報を入れ、書き言葉に慣れることが大切。

【読み聞かせて「書き言葉」に慣れる！】

楽しい読書の平原…小学校中学年まで

このころは、本を読むのが好きな子が多い。
「かいけつゾロリ」のシリーズなど人気。



【楽しい読書をして、「本が好き」「図書館が好き」という経験をさせてあげよう】



②自分から読書する山…小学校高学年ころ

今まで読んでいた本にももの足りなくなる時期。【ゾロリの壁】

第1の山。

対策…子どもに以下を促す具体的な言葉がけをしよう

- ①本には「作者」が存在するのだと気づかせる
- ②シリーズへの興味を持たせる

言葉かけポイント
例「この作者さんはこんな本も書いているんだね」

【ブックコミュニケーション（※次頁参照）を活用して新しい本の楽しみ方を一緒に探そう】

③考えるために読む山…中学生・高校生のころ



自分の生き方の哲学として読書を取り入れるようになるが、新たなハードル「3つの谷」(＝クラブ活動、受験、スマホ)が読書を阻み、読書を離れる子が多い。

【友だちや異性との関わり方(見栄)において読書が続けることが期待できます。】



ブックコミュニケーションとは

「ブックトーク」とは異なり、本のもつ力を伝えあうことでコミュニケーションを図るというもの。一方的に教えられる知識でなく、「響き合う喜び」を重視したもの。相互的な関わり方を目指すものです。

山を越える(新しい本の楽しみ方に気づき自分から本を読むようになる)ためには、家庭だけではなく、学校司書、クラス担任、読み聞かせボランティア、地域等様々な立場からのサポートが必要であり、本を介して子どもに関わりあうことが大切です。

参考「はじめよう!ブックコミュニケーション
響き合う教室へ」村中季衣 伊木洋 著
金子書房より

感想文の書き方

本の選び方

読書感想文を書くための本を選ぶときは…

◇自分が面白いと思う本

- ・面白そうな題名の本
- ・1～2ページ立ち読みしてみて面白そうと思った本
- ◇読みやすさよりも、意見や感想が書けそうな本

◇その他

- ・教科書に載っている作者の別作品
- ・好きなテーマ、興味のあるもの(スポーツ、ファッション)
- ・課題図書



学年別のおすすめジャンル

- 低学年におすすめ … 家族のこと、からだのふしぎ、昆虫のふしぎなど
- 中学年におすすめ … 友だち、なかま、夢、仕事、いのち、福祉、障害など
- 高学年におすすめ … 友情(いじめ問題)戦争(原爆)、震災、原発、環境問題、いのち、生き方など



Step 1 本を読もう

※読み終わってすぐに書き始めるのはNGです。以下参照

Step 2 付箋やメモを使って構想をねろう

- ・あらすじ・感じたこと、考えたこと・心に残った場面・ふしぎに思ったこと・疑問に思ったことなど

Step 3 本の感想を友達や家族と話しあおう

※「僕は～と思った。でもお母さんは～と言った。」などの会話は、感想文中に盛り込めます。

Step 4 感想文を書こう

※『書き出し』『あらすじ』『感想』『まとめ』で感想文になります



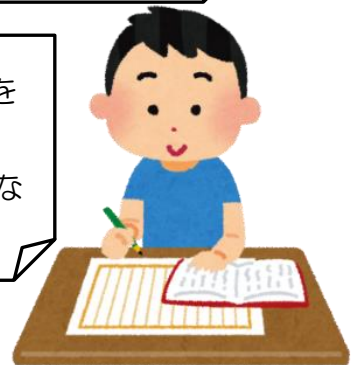
書く量を分配しよう【原稿用紙3枚の場合】

- ・書き出し…5行
- ・感想（心に残ったこと）…10行
- ・まとめ…10行
- ・あらすじ…10行
- ・感想（自分の体験や考え）…25行

書き出しを考えよう

- ・本の紹介から
- ・感想から
- ・読んだきっかけから
- ・作者や、同じ作者の作品紹介から

あらすじは「5W1H」を書く。
(だれが、どこでいつ、なにを、なぜ)



感想を書くコツ

- なぜそう思ったか
- ◎ どんな場面でそう思ったか
登場人物と比べてみる
 - ◎ 「なぜなら」「たとえば」「もしも」「だから」を使って書いてみる
 - ◎ 言葉を言い換えて書いてみる
※大人が語彙を教えてあげましょう

言葉かけポイント

例「自分だったらどうしていたかな？」
「それを書いてみたら？」

言い換えの例え

「悲しかった」→「胸が締め付けられた」「涙がとまらない」

まとめを考えよう

- ・本の感想で終わる
- ・作者の考えや本のテーマをまとめる
- ・本をきっかけに考えたこと、反省、目標
- ・「もしも～」で終わる

【大人が言い換え方（語彙）を教えてあげよう】



◇付箋やメモに書いたことをワークシートにまとめて書いてみよう！

(ワークシート例)

◇子ども自身でふりかえりをして、書きたいことが書けているか確認するよう声をかけてみよう。

レベルアップした感想文を書くには…

- ・「わたしの読書」を読もう … 感想文の書き方が分かります
- ・コンクールに出したいときは、原稿用紙中本文から書き始めよう
- ・青少年読書感想文コンクールの原稿用紙は B4
- ・最後の行まできっちり書こう（3行以上空いていると不可）

「こどもといっしょに読書感想文に向き合うこの時期は、今思えば一番の宝物だったと思います。今の時間を大切にされてくださいね。」（前田先生より）



講座の様子から



約 1 時間半の間、先生のご経験も交えながら「読書感想文を書きやすい本の選び方」や「読書感想文を書くときのコツ」などをお話していただきました。おすすめの本のご紹介もいただきました。

受講生の方は、メモを取りながら熱心に聞いていらっしゃいました。

質疑応答では、「子どもの興味を否定せず、関心を伸ばしてあげる方がよいのでは」などのアドバイスをいただきました。



読み聞かせをしていただきました。

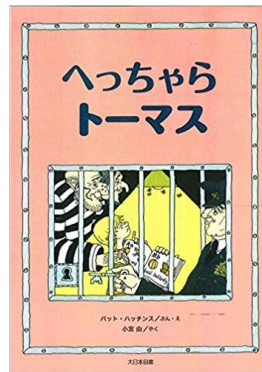


講師より **おすすめしたい本** 一部をご紹介します。

低学年（1-2年生）



タイトル	作	出版社
「しゅくだい大なわとび」	作/絵 福田 岩緒	PHP研究所
「じゃんけんのすきな女の子」	作/松岡 亨子 絵/大社 玲子	学研プラス
「へっちゃんトーマス」	作/ハット・ハッチス 訳/小宮 由	大日本図書
「おとこの子とおもっていた犬」	作/コーラ・アネット 訳/光吉 夏弥 絵/ウォルター・ロレイン	大日本図書
「ボンちゃんはお金もち(こぐまのどんとんぶんこ)」	作・絵/たかどのほうこ	こぐま社



中学年（3-4年生）

タイトル	作	出版社
「あららのはたけ」	作/村中 季衣 絵/石川 えりこ	偕成社
「びりっかすの神さま」	作/絵 岡田 淳	偕成社
「かあちゃん取扱い説明書」	作/いとうみく 絵/佐藤 真紀子	童心社
「おばけだって、カゼをひく！ —内科・オバケ科ホオズキ医院」	作/富安 陽子 絵/小松 良佳	ポプラ社
「なんでもただ会社」	作/ニコラ・ド・イルシング 訳/末松 氷海子 絵/三原 紫野	日本標準
「子犬工場 いのちが商品にされる場所」	著/大岳 美帆	WAVE出版



高学年（5-6年生）



タイトル	作	出版社
「秘密のスイーツ」	著/林 真理子 絵/いくえみ 綾	ポプラ社
「大好き! クサイさん」	著/デイヴィッド・ウォリアムズ 訳/久山 太市	評論社
「ノエル先生としあわせのクーポン」	著/シュゲ -・モルガッスル 訳/佐藤 美奈子、宮坂 宏美	講談社



受講生の方からの

御意見・ご感想 一部ご紹介

☆「おすすめの本」はどれもすごく面白そうで、子どもに読ませるだけでなく、私自身も読んでみたいと思うものがたくさんありました。「読書の発達段階」「ブックコミュニケーション」のお話は奥深く、親子の関りやこれまで、これからの育児について考えるきっかけになりました。読書感想文の書き方はとてもわかりやすいハウツーで有難かったです。読書感想文には親子共々毎年追われて苛まれるという感覚があるので、今年からは親子で楽しめる時間に少しでも近づけていけたらいいなと少し希望が生まれました。

☆幅広く、そして内容の深い講座で受けて大変良かったと思いました。「言葉の言い換え」は、目からウロコ！！でした。感想の表現には毎年苦戦しますが、今年は広がりそうです。久しぶりに誰かに絵本を読んでいただき、そしてお上手でわくわくした楽しい時間でした。ありがとうございました。

☆前田先生のお話はとても分かりやすく、また考えさせられることも多くあり、大変勉強になりました。言い換えの例はとても実用的で使わせていただこうと思います。早く家庭で実践してみたいと、読書感想文と一緒に書き上げることが楽しみにになりました。貴重な機会をありがとうございました。

☆読み聞かせの大切さをとっても実感しました。まだ1年生なので、どのような本が合っているのかわかりませんが、家族に関する本、娘の好きな「オシャレやかわいい」がつまった本を親子で一緒に探してみようと思います。ありがとうございました。

☆「読書感想文＝めんどくさい宿題」と思いがちなところもありましたが、一緒に楽しんで関わり合いたいと思います。今の時間を大切にしていきたいと思います。とても良い時間を過ごせました。ありがとうございました。

☆読書感想文を書くのは2度経験していますが苦労しましたので、今回参加しました。我が家では子どもは本を読むことが好きで、親に読んでくれたり、1ページずつ読み合ったり、本の感想を言い合ったりしています。このことが間違いではなく、これの延長上に感想文があることがわかりました。ありがとうございました。